

## ふるさと宇佐寺子屋塾設立趣意書

国家財政破たんの危機、リーマンショックや欧州危機などによる経済不況の深刻化、自殺者の高止まりに加え、昨年3月の東日本大震災等目下の日本を取り巻く状況は、まさに国難というべき時であり、人的インフラの整備である教育の果たす役割はますます大きくなっています。

そこで、将来を担う子供たちに、行政の枠を超え、宇佐市等が生んだ偉人伝の学習や地元社長の講話、英会話学習や算数の個別指導、食の体験等を通じて総合力のある人材育成を図り、中長期的には宇佐市から国際色溢れる知識人の輩出を目指していくことにしました。

このため、我々設立発起人一同は、「ふるさと宇佐寺子屋塾」を創設し、以下のカリキュラムで有為な人材の育成に努めることとしました。

- (1) 恥ずかしくない大人になるため、①きちんと挨拶する、②靴を脱いだら揃える、③呼ばれたら「ハイ！」と元気に答える、といった基本的な礼儀作法を身に付け、トイレの掃除や、人を褒める練習を行います。
- (2) 基本をしっかり学び元気な中学生になるため、算数、国語、英語について、ボランティア講師により、分からないところを中心に個別指導を受け学習します。
- (3) 外国の友達を作るため、宇佐市に在住の外国人等の講師により、日常会話において求められる英語を学びます。
- (4) 地元へ愛着を感じ、宇佐を誇る人間になるため、宇佐市に縁のある双葉山や賀来飛霞、南一郎平、麻生豊などの偉人について、講義や書物を通じて学習し、議論に参加し、感じたこと、考えたことを書いて発表してもらいます。
- (5) 地元先輩から人生哲学を学ぶため、宇佐市の経営者の方から「私の生き方」と題して講義いただき、子供たちから積極的な質問や意見を話してもらい、講義終了にはお礼のお手紙を書いてもらいます。
- (6) 先人の生き方・考え方に学ぶため、枕草子や論語などを題材にして、簡単な意識、背景を説明し、音読を繰り返す行い、身体で古典に親しみ、先人の知恵を学びます。
- (7) 健全な精神は地元の食材にあることを認識するため、精魂込めて栽培された地元の野菜やお米を食べ、それらの農産物がどのように栽培されているかを見学し、また地域の伝統的な食文化について学び、食に対する意識を高めます。
- (8) お金をかけない勉強法を学ぶため、効率的かつ効果的な勉強手法等は何かについて講義を受け、個々人が抱えている悩み等について相談を受けます。

また、子供たちが長い人生を生きていくうえで、時には困難に直面し、逃げ出したくなる場合があります。そのような時に歯を食いしばって前進し、切り開いていくには精神的な支えが必要です。また、宇佐神宮をはじめ古来より和を大切にする風土も忘れてはなりません。このような思いから、当塾では塾是を制定し、毎回の塾の開始時に子供

たちと斉唱することになりました。

<塾 是>

- 一、今日の前の人、もの、ことを大事にします
- 一、先人たちの築いた歴史や大自然の恵みに感謝します
- 一、非効率なものに感動を見つけ、相手の気持ちを考え行動します
- 一、困ったことがあっても笑顔で前に進みます

当塾の活動費については、幅広く地域の人材を求めていくため、参加者1人当たり月額1000円の徴収にとどめ、残りの諸費用については日本全国を対象に有志からの寄付金により賄うこととしました。

我々発起人一同は、当塾を初等教育を通じた地域の活性化のシンボルにしたいと考えています。これは、地域に存在する人材や歴史、地域資源等をフル活用し、将来を担う子供たちに地域を愛し、日本を愛して、人としてしっかりとしたビジョンを持ってこれからの世の中を生き抜いてほしいと思うからです。それこそが、皆様から寄せられた善意に報いる道であり、地域の希望の光になるものと信じています。

以上の趣旨を踏まえ、ぜひともご英断をもって、ふるさと宇佐寺子屋塾へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成24年10月1日  
ふるさと宇佐寺子屋塾設立発起人一同  
設立発起人代表 坂内啓二

## ふるさと宇佐寺子屋塾設立発起人

(五十音順・敬称略)

岡本 泰治	日豊工事(株)	社長
小倉 正五	宇佐市観光協会	専務理事
熊埜御堂 宏實	宇佐市商工会議所	会頭
都留 睦	(株)アクト・ケア	部長
西 太一郎	三和酒類(株)	取締役名誉会長
花岡 雅洲	アクト・玄々堂グループ	代表
坂内 啓二	宇佐市役所	経済部長
平田 崇英	教覚寺	住職
身深 俊一	身深食品(有)	社長
吉野 幸太郎	(株)アクト物流	社長
渡辺 幹雄	渡辺メデカルグループ	代表
渡辺 一平	渡辺メデカルグループ	